

市民のみなさんへ

観光は、鳥羽を訪れるかただけでなく、市民のみなさんの暮らしにも深く関わっています。本計画では、将来の目指す姿の実現に向けて、8つの基本戦略や具体的な取り組みのほか、市や観光関係団体など、それぞれの役割について整理しています。

観光まちづくりを共に進めるために

また、観光まちづくりを進めるにあたり、市民のみなさんにも関わっていただきたいことがあります。

- 観光都市に暮らすことの恩恵を感じながら、観光従事者や観光振興の担い手として参加してほしい
- 「鳥羽の海」とともに培われてきた歴史文化がかけがえのないものであることを認識し、守り、育み、後世に伝えてほしい

目標実現に向けた指標

鳥羽市が一体となって計画の目標の実現を目指すため、その達成度を測る指標として、次の2点を設定しています。

- ①市民のみなさんが観光の効果を実感していること(観光に対する関心度)
 - ②市民のみなさんが観光客におもてなしの心を持って接していること(観光に対する推奨度)
- ☞ まずは、計画のスタートにあたり、アンケートで市民のみなさんの声を聞かせてください。

8つの基本戦略と主要施策

この計画では次の8つの基本戦略を定め、それぞれの基本戦略毎に主要な施策を位置付けています。

基本戦略	主要施策	
1 鳥羽らしい自然環境配慮型の観光の推進	1-1 伊勢志摩国立公園の保全と活用	1-3 鳥羽ならではの海洋環境をテーマとした旅行やMICEの推進
	1-2 鳥羽うみを守りながら楽しむ体験コンテンツの充実	1-4 環境負荷の少ない観光産業の実現
2 鳥羽産食材の徹底的な流通、提供	2-1 漁業と観光の連携のさらなる発展	2-3 海女・漁業者の担い手育成
	2-2 鳥羽うみの豊かな食材の流通促進	2-4 海洋環境、水産資源の保護
3 滞在したくなる宿泊の魅力向上	3-1 泊まりたくなる魅力づくり	3-3 長期滞在につながる広域連携
	3-2 伊勢志摩の滞在拠点としての宿泊の魅力向上	3-4 長期滞在から移住定住につながる受け入れ態勢整備
4 多様な観光客を迎える体制づくり	4-1 外国人観光客の受入体制・環境の整備	4-3 アクセシブルツーリズムの推進による優しい観光地づくり
	4-2 多様な来訪者のハード、ソフト両面での受け入れ体制強化	
5 快適な都市基盤・景観の整備	5-1 鳥羽の玄関口としての鳥羽駅周辺の整備	5-3 漁村集落の景観や沿道・沿線景観の整備
	5-2 使いやすくなりやすい二次交通による回遊性の向上	5-4 災害に強い安全・安心なまちづくり
6 稼げてやりがいのある働きやすい鳥羽	6-1 働きやすい就労環境の創出	6-3 稼げる観光産業に向けた生産性向上と成長支援
	6-2 働きたいと思える魅力的な雇用の創出	
7 戦略的な情報発信	7-1 来訪者向けプロモーション(BtoC)	7-3 市民向けのインナープロモーション
	7-2 重点マーケットを意識した戦略的な誘致(BtoB)	
8 観光財源の効果的な活用と推進体制の強化	8-1 市民と観光客が共存・共栄する観光まちづくり充実・強化	8-3 観光まちづくりを担う観光関連団体(登録DMO等)、振興団体の組織強化、官民連携の強化
	8-2 観光財源の効果的な活用	

最後に

これからも、鳥羽を訪れるかたにとって魅力的であるだけでなく、「市民と観光客が共存・共栄する観光まちづくり」を目指して、観光事業者や関係団体、市民のみなさんと連携しながら観光地づくりを進めていきます。地域の魅力を高め、次の世代へとつないでいくために、本計画へのご理解とご協力をお願いします。

アンケートにご協力ください!



市民のみなさんの声を今後の取り組みに生かしていくため、アンケートを実施します。みなさんの率直な意見を聞かせてください。

『第3次鳥羽市観光基本計画』

計画期間：令和8年度～令和17年度(10年間)

観光商工課観光係 TEL 25-1157

第3次鳥羽市観光基本計画は、鳥羽市の観光が将来進むべき方向性を示す羅針盤として、市内の観光関係者や市民のみなさんで目標を共有し、地域一丸となってそれぞれの役割を果たすことで、目標の実現を目指すものです。



目指すべき目標像

「鳥羽うみ」と共に生きる観光まちづくり ～ The Blessed Sea ～

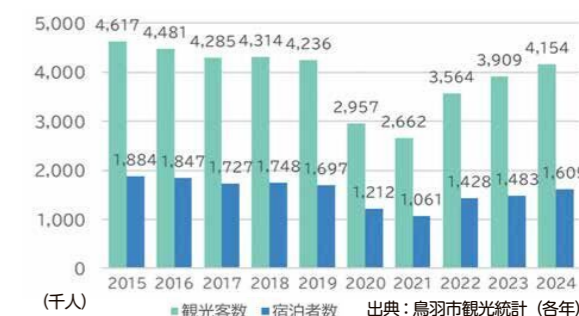
鳥羽市は大小さまざまな島やリアス海岸、伊勢湾や三河湾といった内海と熊野灘や遠州灘といった外洋が交じり合う「豊饒の海」*に囲まれ、海と密接にかかわる暮らしや生業が育まれてきました。

市では、この特徴ある鳥羽特有の海と、そこから生まれた歴史や生活・漁業文化を「鳥羽うみ文化」とし、さまざまな取り組みを推進してきました。

人口減少社会を迎えるなか、持続可能なまちづくりに観光が果たす役割は大きく、「鳥羽うみ」の恵みを、経済・環境・生活の面において循環させていくとともに、鳥羽を訪れるかたがたとも分かち合える観光まちづくりを進めることで、ほかにはない海洋文化都市を目指して取り組みます。

*豊饒の海：自然や食、文化などの恵みにあふれた、豊かな海のこと。

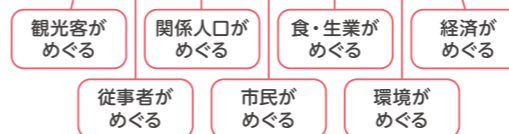
○参考：観光客数・宿泊客数の動向



目標像を実現するための基本方針

基本方針

「鳥羽うみ」の恵みをエリア・時間・分野を超えて循環させることで、誰もが幸せになる



観光客が鳥羽に求めている海産物や美しい海、そして、海女文化といった「鳥羽うみ」の魅力^①を未来に引き継ぎ、「経済」「暮らし」「人の縁」の循環を育んでいくことこそが、私たちが目指す「鳥羽うみと共に生きる観光まちづくり」といえます。

推進体制

観光まちづくりの推進にあたり、市や地域DMOをはじめとする観光関係団体・事業者が一体となって取り組みます。進捗管理や目標達成度を定期的に共有し、各種事業の改善と品質の維持・向上を図ることで、実効性の高い観光まちづくりを推進します。

